

みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

思いを込めて卒業証書授与式を挙行！



3月3日(火)、第115回卒業証書授与式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参加者を卒業生、保護者、教職員、在校生代表に限定し、時間も短縮したものとなりました。

国歌斉唱、卒業証書授与、校長式辞、在校生代表(青海会長溝口俊常さん)送辞、卒業生代表(前青海会長窪田大地さん)答辞、校歌斉唱と進み、最後は学年団のリクエスト曲「365日の紙飛行機」と大きな拍手に送られ、卒業生が巣立っていきました。

シンプルながら、多くの思いを込めたあたたかい卒業式となりました。前途洋々をお祈りします。

【校長式辞より(抜粋)】

○2つお話しして「はなむけの言葉」とします。

○1つ目は、加茂農林高校で農業を学んだことに、誇りと自信を持ってほしいということです。校歌の一節「農林邦家の基の道」とあるとおり、農林業は、安全・安心な食料の供給と美しい国土の保全など、我が国の基盤であります。皆さんは、この「国の基」たる農林業を学んできたのです。農林業及び関連分野に進む皆さんも、違う分野に進む皆さんも、「国の基」たる農林業を学び、命と向き合ってきたことに誇りと自信を持ってほしいと思うのです。

○また、加茂農林高校は、「便所掃除」と「^{せいび}精美購買組合」に代表される「人の嫌がることでも自ら進んで行く」「人の見ていない所でも嘘やごまかしをしない、互いに信用し裏切らない」という青海精神を大切にしてきました。現在は、農場の基本方針「時を守り、場を清め、礼を正す」として引き継がれています。これらの徳目はどんな分野に

進んでも最も大切な社会人基礎力です。時には、厳しい指導に反発したこともあったでしょうが、培った人間力はいつか必ず生きるものと信じています。人間教育の殿堂、加茂農林高校で学んだことに誇りと自信を持ってください。

○2つ目は、「一隅を照らす」人になってほしいということです。私たちは何でもできるスーパーマンではありません。短所もあれば不得意もある、できないことも少なくありません。しかし、必ず長所があり得意があり、何よりあなただけの持ち味を持っています。必ずあなたでなければできない仕事や役割があるのです。人と比べるのではなく、自分が置かれた場所で自分の花を咲かせる、自分の持ち味を生かして社会の一隅を照らしてほしいのです。

○また、あなたと同じように他の人も「一隅を照らす」大切な人です。オンリーワンの自分を大切にすると同様に、出会った他者をオンリーワンの存在として大切にし、お互いを尊重し合い、支え合う人生を送ってください。皆さん1人1人が「一隅を照らす」ならば、社会は明るく照らされ、平和で心豊かなものになると信じています。

【在校生代表送辞より(抜粋)】

○私たちは、皆さんから多くのことを学びました。私たちの前を歩く先輩としての皆さんには、どんなことでも成功させようと努力する姿を、地道に取り組めば必ず良い結果に結びつくという姿を見ることができました。その力強さを私たちも受け継いでいこうと思います。

【卒業生代表答辞より(抜粋)】

○本日、私たちはこの学校を卒業し、学校生活を共に過ごした仲間たちと別れ、それぞれの道へ歩んでいきます。3年間を共にした仲間との別れは大変辛いことですが、1人1人が目標を持ち、加茂農林高校での思い出や経験を忘れずに頑張っていくます。

